**令和４年度第２回スタッフセミナー**

**「認知症と地域生活支援」**

**ケアプランととと　山上　智美**

**令和４年１０月１４日（金）、朝倉市総合市民センター（ピーポート甘木中ホール）にて令和４年度第２回スタッフセミナーが開催されました。**

**セミナーの内容は、「認知症と地域生活支援」と言うテーマで、医療法人社団　誠仁会**

**在宅部　次長の党一浩氏を講師に迎え講演をしていただきました。**

**今回のセミナーでは、介護保険の３原則である、自立支援　　自己決定　　日常生活の継続を念頭に認知症とはどのような状態かを再確認しました。また、年齢階級別推定認知症有病率が５歳刻みで倍増し９０歳以上では６割が認知症になるという話を聞き、自分の仕事でもほとんどの方が何らかの認知症を有しておられると数の多さを感じています。**

**誰でもいつかはなる。と思えばこそ、認知症の経過（心理社会的構造）“からくり”を十分理解していくことは大事であり、ひとりひとりが認知症の理解を深めることで認知症になっても安心して生活できると共感しました。**

**私自身ケアマネの仕事をしていく上で努めていることがあります。利用者に認知症があるなしにかかわらず高齢な方は言いたいことがまとまらなくなったりうまく表現できなかったりされることがあります。そんな時は言いたいことを少し補い、時間をかけて聞き取ると会話が成立しどんどん自分から話をしてくれるようになり警戒心が取れ笑顔で迎えてくださるようになります。その反面、同居中のご家族へ認知症の理解を促すことはとても難しいと感じています。**

**まじめで責任感の強い介護者であればあるほど叱ってしまったり、何度も同じ説明をして疲れてしまい、最終的に施設入所を希望してしまわれることがあります。認知症の方との信頼関係は比較的早くにできてもそのご家族に認知症の方の介護の仕方について、理解を深めるのはとても難しくご本人の「今までの暮らしを続けたい」を支えられなくなり関係が終わり力のなさを感じます。**

**そのような中、福岡市では「認知症の人が安心して暮らせるまち」「認知症でない人も暮らしやすいまち」をスローガンに政令指定都市初の福岡オレンジパートナーズ　認知症の人の「支援」から「活躍」へステップアップし企業も一緒に取り組みを始めているとの講演で、新たな取り組みにうれしい気持ちにもなりました。今後は福岡市だけでなくこの地域も前向きな取り組みが始まればと期待したいと思います。**

**党先生、大変有意義なご講演をありがとうございました。**